



エコアクション21

認証・登録番号0007046

環境経営レポート

【43期 2024年】

(対象期間：2023年 7月 1日 から 2024年 6月 30日まで)



発行日：2024年 10月 7日

所在地：東京都八王子市北野町582番1
文吾林造園株式会社 東京本社

目 次

- ①、組織の概要
 - ②、対象範囲とレポートの対象期間及び発行日
 - ③、環境経営方針
 - ④、環境経営目標
 - ⑤、環境経営活動計画
 - ⑥、環境経営目標の実績
 - ⑦、事業所 CO2排出量
 - ⑧、環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
 - ⑨、環境関連法規制等の遵守状況
 - ⑩、代表者による全体評価と見直しの結果
- *、環境保全推進体制表

①、組織の概要

<会社概要>

【会社名】 文吾林造園株式会社 東京本社
【代表者氏名】 代表取締役 原 英俊
【事業所・所在地】 東京本社：〒192-0906 東京都八王子市北野町582番1

(本社：〒395-0151 長野県飯田市北方3883番3号)

【資本金】 2,000万円
【設立年月日】 東京支店：昭和61年 2月
(本社：昭和56年12月)

<事業活動の概要>

【事業内容】 主として、公園・緑地の維持管理等の緑化事業及び公共建設工事
ほかに、一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業
(但し、廃棄物の収集運搬については自社施工分等に限定)

【許可取得状況】

許可の種類	許可者名	許可番号	有効期限	取扱品目
建設業許可	国土交通大臣	特-2 第11882号	令和7年 11月20日	造園、土木、他 工事業
一般廃棄物収集運搬業	八王子市	第236号	令和7年 7月31日	一般廃棄物
産業廃棄物収集運搬業	東京都	第13-00 -070753号	令和7年 12月18日	紙くず等8品目

<事業の規模>

【従業員数】 東京本社 従業員数・・・12名

【車両所有台数】	2tダンプ車・・・1台	軽トラック・・・6台	
	3tパッカー車・・・2台	軽自動車・・・5台	普通自動車・・・1台

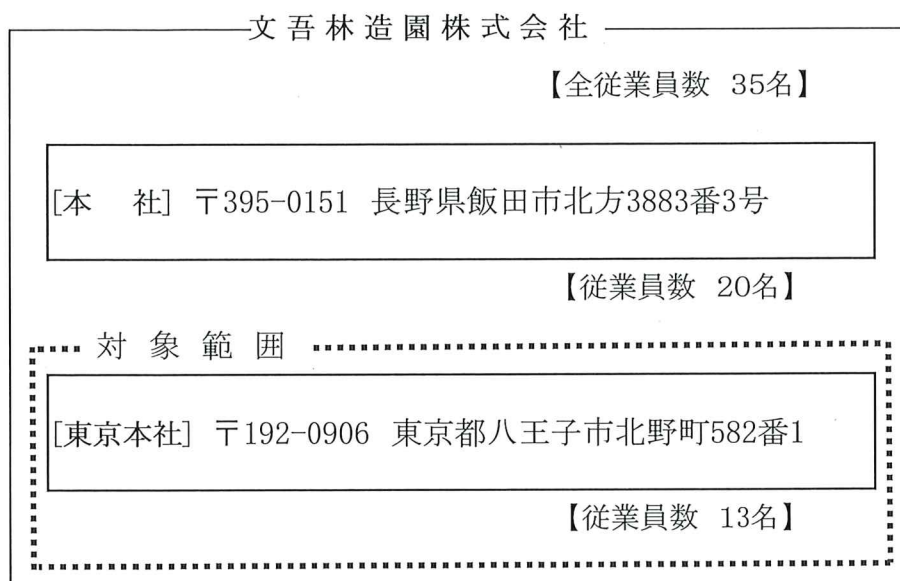
【事業所敷地面積】 518㎡
【事業所床面積】 273㎡

<連絡窓口等>

【環境管理責任者】 中村 隆
【環境管理担当者】 細野 将太郎
【連絡先】 ・TEL 042-644-2625、FAX 042-644-2726
・URL <http://www.bungobayashi.com/>
・E-mail bungobayashi-t@tbd.t-com.ne.jp

②、対象範囲とレポートの対象期間及び発行日

<対象範囲>



尚、本社(長野県)についてはその他のEMSを含め2028年迄に
認証取得を目指しております。

<対象とする事業活動>

・造園工事業(公園・緑地の維持管理及び公共建設工事)

<レポートの対象期間>

・対象期間

2023年 7月 1日～2024年 6月 30日まで

<レポートの発行日>

・発行日

2024年 10月 7日

③、環境経営方針

文吾林造園株式会社 東京本社は、公園・緑地の維持管理等の緑化事業及び公共建設工事を主な事業とし、「人の憩う環境・快適な空間づくり」「従業員の関連分野におけるスキルアップ」に力を注ぎ経営しております。

その事業活動においては、環境への配慮として次に示す環境経営方針を定め自主的・積極的に取組む事により、環境経営の継続的改善を目指します。

《 環境配慮への行動方針 》

1、環境経営目標を設定し、次のことに取組み環境へ配慮する。

- ①. 二酸化炭素排出量の削減
- ②. 廃棄物排出量の削減
- ③. 事業所における上水道使用量の削減
- ④. 関連分野における積極的な資格取得(従業員)
- ⑤. 関連分野におけるセミナー、勉強会への積極的な参加(従業員)
- ⑥. 化学物質使用量の把握
- ⑦. 建設現場において、
 - ・「環境」分野におけるNETIS(新技術情報提供システム)登録の新技術の積極的な活用。
 - ・環境コミュニケーションの取組(地域貢献、景観の保全・清掃、建設工事に伴う、騒音・振動・粉塵対策の実施等)

2、環境関連の法規制、条例及びその他の要求項目を遵守します。

3、環境経営への取組みを環境活動レポートとして取りまとめ公表します。

この環境経営方針は全ての従業員が周知し実行します。

制定日 : 2010年 1月 7日
改定日 : 2012年 1月 7日
改定日 : 2016年 7月 1日
改定日 : 2018年 7月 1日

東京都八王子市北野町582番1

文吾林造園株式会社 東京本社

代表取締役 原 英俊

④、環境経営目標

2024年度(43期)

		(基準年度)	(目標)	2024年度	2025年度	2026年度
環境経営目標 設定項目		*基準値 【38期～42期の 直近5年の平均値】 (項目5は除く)	2023年度 (2023/7～ 2024/6) 【43期】 【単年度】	2024年度 (2024/7～ 2025/6) 【44期】	2025年度 (2025/7～ 2026/6) 【45期】	2026年度 (2026/7～ 2027/6) 【46期】
				← 中長期 (直近前5年間の平均値を基準値とする) →		
1	二酸化炭素 排出量の削減	前5年平均 29027 (kg-CO2)	基準値以下 29027 (kg-CO2)	基準値以下	基準値以下	基準値以下
2	廃棄物排出量の削減 (事業所)	前5年平均 542.9(kg/年) 45.24(kg/月)	基準値以下 542(kg/年) 45.17(kg/月)	基準値以下	基準値以下	基準値以下
	(本業廃棄物/木くず)		排出量の把握、乾燥・ 圧縮・再利用の推進	積極的に推進	積極的に推進	積極的に推進
3	水使用量 の削減	前5年平均 事業所計 105.6(m 3)	基準値以下 事業所計 105(m3)	基準値以下	基準値以下	基準値以下
4	従業員の 資格取得		・積極的な取得 ・記録に留める	・積極的取得 ・記録に留める	・積極的取得 ・記録に留める	・積極的取得 ・記録に留める
5	従業員の スキルアップ		・セミナー、勉強会 へ の積極的参加 ・記録に留める	・積極的参加 ・記録に留める	・積極的参加 ・記録に留める	・積極的参加 ・記録に留める
6	化学物質 使用量の把握		・使用量の把握 ・SDSの整理/保管	使用量の把握	使用量の把握	使用量の把握

*電力のCo2排出量係数は東京電力エナジーパートナー(株)の調整後0.408kg-CO2/kwhを採用

*電力の基準値については、直近5年平均値でなく前年度使用量としている。

(建設現場において)

7	NETIS登録 新技術の 積極的な活用		・環境分野における新技術の活用 ・記録に留める			
	・環境コミュニケーション取組		・地域貢献の実施/現場周辺の景観保全、清掃、騒音・振動・粉塵対策実施など			

⑤、環境経営計画

2024年度(43期)

環境目標	環境経営計画(施策)		実施対象 (責任者)	進捗管理 ・記録
	【単年度】	【中長期】		
1 二酸化炭素 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量、ガソリン/軽油使用量について 前期まで取り組んでいた施策を実施する。 (受注内容により変動あり) ①. 冷暖房機の温度設定(暖房20℃、冷房28℃) ②. エアコンのタイマー設定使用/不要照明の消灯徹底 ③. 近郊への移動手段として自転車の活用 ④. 現場までの最短ルートを検索し使用量を削減 ⑤. 本業で使用出来そうな脱炭素機械類の精査 	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き同様な施策の取組を実施 ・事業所の移転に伴い、新たな 施策を検討していく。 *エアコンの使用をいかに控えるか。 ・本業で使用する機械等の 「脱炭素化」を精査/検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全従業員 (環境管理 責任者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗管理表 ・使用量の グラフ化
2 廃棄物 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・前期まで取り組んでいた施策を実施する。 ①. 事前確認(レビュー)によりミスコピーの防止 ②. 本業で発生した一般廃棄物(木くず)量 及び処理費用を集計、把握する。 ③. 廃棄物量(木くず)削減の手段とし乾燥・圧縮 また、再利用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き同様な施策の取組を実施 ・本業における廃棄物量(木くず) の削減施策を検討していく。 (再利用の実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全従業員 (環境管理 責任者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗管理表
3 水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に事業所内の水使用量をグラフ化、掲示し 従業員に水使用量に対する興味を持たせ 日々、節水に心掛けるよう導く ・突発的な漏水対策として、月2回のメーター パイロット部のチェックを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き同様な施策の取組を実施 ・従業員の増減により使用量変動 するので、1人当りに換算した 目標値を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全従業員 (環境管理 責任者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗管理表 ・使用量の グラフ化
4 従業員の 資格取得	<ul style="list-style-type: none"> ・関連分野における従業員の資格取得年次計画を 作成、講習日程・試験内容など情報を提供し 自主的、積極的に新規資格を取得するよう促す ・当年度の試験/講習日程を事業所内で閲覧する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き同様な施策の取組実施 ・資格取得の手助けの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全従業員 (環境管理 責任者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年次計画 の作成
5 従業員の スキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会の開催等の情報は、速やかに事業所内で 回覧し参加者を募る ・講習会/説明会の参加者は、後に事業所内で そこで得た知識/情報などを報告・発表し、 全従業員がそれを共有出来るようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き同様な施策の取組実施 ・開催情報等の早期入手 	<ul style="list-style-type: none"> ・全従業員 (環境管理 責任者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の保管
6 化学物質 使用量の把握	<ul style="list-style-type: none"> ①. 使用量の把握、管理 ②. 安全データシートの入手～保管 	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き同様な施策の取組実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全従業員 (環境管理 責任者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録管理表

(建設現場において)

7	<ul style="list-style-type: none"> 環境分野における NETIS登録 新技術 の積極的な活用 環境コミュニケーション の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事施工で活用可能な新技術を精査し 積極的に使用する ・現場周辺 地域貢献の実施 ・振動、騒音、粉塵対策等の取組実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き同様な施策の取組実施 ・*数値化できるものは、目標値を 設定する 	<ul style="list-style-type: none"> ・全従業員 (環境管理 責任者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の保管
---	---	---	---	--	--

⑥、環境経営目標の実績

環境経営目標 設定項目		*基準値 【直近5年(38期～42期) の平均値】 (項目4,5,6は除く)	*目 標 (2023/7～2024/6) 【43期】 目標値	*実 績 (2023/7～2024/6) 【43期】 (基準値比 実績削減率) 実績値	達成 状況
1	二酸化炭素 排出量の削減	29027 (kg-CO2)	基準値以下	718(kg-CO2)増加 約2.4%の増加	×
			29027 (kg-CO2)	29745 (kg-CO2)	
2	廃棄物排出量 の削減	542.9(kg/年) 45.24kg/月)	基準値以下	5.0(kg/年)削減 約0.9%の削減＝達成	○
			542(kg/年) 45.17(kg/月)	537(kg/年) 44.75(kg/月)	
3	水使用量 の削減	事業所計 105.6(m3/年)	基準値以下	2.0(m3/年)削減 約1.9%の削減＝達成	○
			事業所計 105(m3/年)	事業所計 82(m3/年)	
4	従業員の 資格取得		・積極的な取得	資格取得年次計画を作成	
			・記録に留める		
5	従業員の スキルアップ		・セミナー、勉強会への 積極的な参加	積極的な参加、記録に留める	
			・記録に留める		
6	化学物質 使用量の把握		使用量の把握(記録)	使用量 0.304(kg)	
			SDSの整理/保管	新たな対象物質なし	

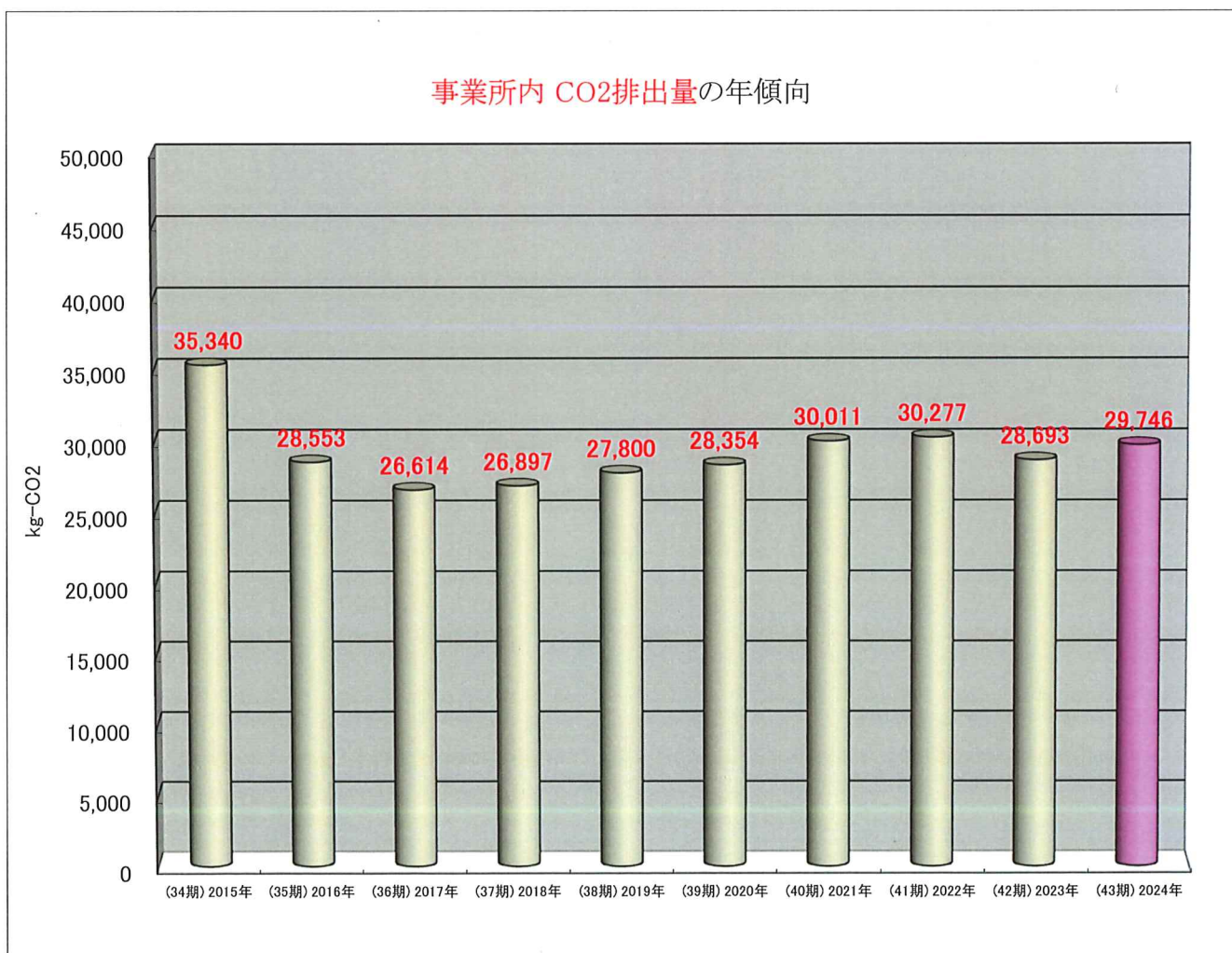
(建設現場において)

7	NETIS登録 新技術 の積極的な活用		・環境分野における新技術の活用	
			・記録に留める	
	環境コミュニケーション の取組		・地域貢献の実施	
			・振動、騒音、粉塵等対策の実施	

⑦、事業所 CO2排出量の年度別集計

43期(2024年)

年度別	CO2排出係数 (kg-CO2/KWh)	事業所 年間排出量 (kg-CO2)	主な建設現場に おける排出量 (kg-CO2)	年間総排出量 (kg-CO2)	備考/前年比 (事業所内排出量)
(34期) 2015年	0.505	35,340	1,133	36,473	100.0%
(35期) 2016年	0.505	28,553	3,388	31,941	80.8%
(36期) 2017年	0.500	26,614	1,856	28,470	93.2%
(37期) 2018年	0.475	26,897	0	26,897	101.1%
(38期) 2019年	0.455	27,800	1,599	29,399	103.4%
(39期) 2020年	0.455	28,354	2,604	30,959	102.0%
(40期) 2021年	0.455	30,011	2,750	32,761	108.0%
(41期) 2022年	0.455	30,277	4,333	34,610	100.9%
(42期) 2023年	0.376	28,693	0	28,693	94.8%
(43期) 2024年	0.408	29,746	0	29,746	103.7%



⑧、環境経営計画の取組結果とその評価、次年度環境経営計画

環境目標	環境活動・取組結果	取組の評価	次年度環境経営計画
1 二酸化炭素 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・基準値は直近5年の平均値としている。 ・電気使用量について、集計に不備が判明したため目標値を前年度以下とした。 ・事業所における各使用量をグラフ化したものも事業所内で定期的に掲示した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量は基準値比で僅かに0.09%(26kg-CO2)の増であり達成と考える。 ・事業所CO2排出量の80%をしめるガソリン+軽油の使用量については、ガソリンはほぼ同量で軽油が約9%(350%)削減したのは評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集計ミスのあった電気使用量の目標値については、5年間程度データを収集し目標値を設定。 ・引き続き、同内容で取組む。
2 廃棄物 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・施策①、②ともに実施した。 ・②については、集計・把握するとともに記録に留めた。 ・本業廃棄物処分費用削減の為、発生材は乾燥・圧縮を心掛け処分した。 ・1件 廃棄物の再利用を実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策②. により、いかに本業において発生する廃棄物(木くず)量及び処理費が、把握でき、この取組の有効性はある。 ・本業廃棄物処分費用を少しでも削減する試みを実施している事は評価できる。 ・を実施している事は評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再利用化の検討 ・引き続き、同内容で取組む。
3 水使用量 の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・7月、12月、5月の計3回 使用量をグラフ化したものを事業所内に掲示した。 ・従業員に節水に対する心掛けは定着してきている。(期間中の漏水無し) ・月一回以上のメーターパイロットのチェックを実地 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標である「基準値以下」は達成(4.6%削減) ・コロナ禍もひと段落し、若干、手洗い等の頻度が下がり使用量が減少したと思われる。 ・定期的に事業所の漏水無しを確認できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・突然発生する漏水に対応する為に、最低月一回のメーターパイロット部のチェックを引き続き実施する。 ・従業員1人当りに換算した目標
4 従業員の 資格取得	<ul style="list-style-type: none"> ・2名の従業員が「街路樹剪定士」試験を受験し1名が資格を新規に取得した。 ・4名が新たに「自然再生士」を取得した。 ・従業員の資格取得年次計画を作成し資格の取得を支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・価格競争が激化する昨今、従業員がさまざまな資格を取得している事は、同業他社との差別化に有利であり、受注面でも必ずプラスとなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、同内容で取組む。 ・当年度の試験/講習日程を事業所内で閲覧する。 ・資格取得年次計画の作成
5 従業員の スキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー、勉強会への積極的な参加を心掛けたが、特に有効性のあるものが無く、不参加に終わった。 ・現業に社員10名が「普通救命講習」を受講。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記4 と同様に講習会/説明会等で得た知識や情報を事業所内で共有し、従業員がスキルアップしていく事は、顧客の信頼性・満足度の向上に繋がり、受注面でもプラスになると思われ、この取組は評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で減少傾向にあった講習会/勉強会等も開催が増えてきており、引き続き同内容で取組む。 ・WEB講義も積極的に参加する。
6 化学物質 使用量の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・対象物質の使用量を漏れなく集計、記録した。 ・最も使用する園地管理業務が2020年4月より無くなり、使用量は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用量は少量だが、対象物質の有害性や環境への影響がSDSから理解できるので取組の効果性はあると言える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、使用量の把握・SDSの入手を行う。

(建設現場において)

7 環境分野における NETIS登録 新技術 の積極的な活用 環境コミュニケーション の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・極小規模な建設工事しかなく新技術の使用は無かった。 ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定規模の工事の受注が無かった。 (次年度以降も受注は?である。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、同内容で取組む。 ・数値化できる項目は目標値を設定する。
---	---	--	---

⑨、環境関連法規制等の遵守状況

- ・法規制等の遵守確認については、環境管理責任者が対象期間終了後30日内外にて確認/評価する。
- ・当一覧表の見直しについては、環境管理責任者が半期に一回、環境関連法改正情報を検索し適切な見直しを実施する。

* 法規制 見直し実施日:2024年 1月16日

区分	法規制名称	業務事項	対象	実施事項	遵守状況 評価確認欄
水質汚染	下水道法	・有害物質は流さない	事業所下水	・注意貼紙の掲示	違反なし、遵守 2024. 8. 20
	八王子市下水道条例	・基準に適合しない下水を公共下水道へ 排除しない	各建設現場		
生活環境	騒音規制法	・騒音規制値の順守(85db以下)	特定建設作業時	・事前確認と調査	該当なし 2024. 8. 20
	振動規制法	・振動規制値の順守(75db以下)			
廃棄物	廃棄物処理法	・一般ゴミ 有料袋で市の収集に依頼	事業所内	不燃/可燃/資源に分別	違反なし、遵守 2024. 8.20
		・産業廃棄物の委託契約の締結	各建設現場	・1件 契約有り	
		・マニフェストの発行、保管		・マニフェスト伝票の整理	
		・マニフェスト前年度交付状況の報告(市長)		・報告書の提出	
		・収集運搬実績の報告(市長/知事)		・ //	
		・収集運搬業許可の更新		・一般R6.7,産廃R7.12 (該当なし)	
・廃水銀等の撤去、廃棄					
化学物質	PRTR制度	・対象物質の使用量を把握 ・安全データシート保管	各建設現場	・使用量を記録	使用量 0.304kg 2024. 8.19
	農薬取締法	・農薬の使用基準 (使用時期及び方法その他)の遵守	薬剤散布作業	・使用前に 方法等を再確認	使用なし 2024. 8.19
	毒物劇物取締法	・規制の遵守			
	消防法 火災予防条例 第58条	・危険物届出(指定種の一定数量以上保管) 一定数量=ガソリン 500ℓ、灯油/軽油 1000ℓ ・少量危険物貯蔵に係る届出	使用機械の燃料	・危険物指定種 ガソリン保管量把握 (一定数量の1/5未満)	日々ガソリン保管量 40ℓ以下を確認
大気汚染	改正フロン法	・フロン類漏えい点検 ・全ての業務用冷凍空調機器が対象	事業所 業務用エアコン	・四半期に1回以上 簡易点検の実施	2024. 8.20 簡易定期点検実施
リサイクル	建設リサイクル法	・分別解体、再生資源化の実施義務	該当工事施工時	・リサイクルに関する 届出の記録・整理	該当なし 2024. 8.20
	家電リサイクル法	・買替え、廃棄物業者 引渡し時、リサイクル料の支払い	事業所内家電機器	・支払い記録の整理	買替え等なし 2024. 8.20
	自動車リサイクル法	・車検又は買替え時、リサイクル料の支払い	社有車両	・支払い記録の整理	リサイクル料支払確認 2024. 8.20
その他	グリーン購入法	・環境物品等を選択する様に務める ・基本方針に基づいた植栽管理の実施	・使用事務用品等 ・植栽管理現場	・環境物品への転換 ・特記に従い行う	遵守、確認 2024. 8.20
市条例	廃棄物の処理及び 再利用の促進に 関する条例	・事業系、一般廃棄物に関すること (発生の抑制、再利用を促進し廃棄物減量)	事業所	・分別収集の徹底	違反なし、遵守 2024. 8.20
都条例	都民の健康と 安全を確保する 環境に関する条例	・自動車NOx・PM法(車種規制の遵守)	事業所 各建設現場	・自動車車検証 記載内容の確認	確認、違反なし 2024. 8.20
		・ディーゼル車排出ガス規制		・粒子状物質減少 装置装着の確認	確認、違反なし 2024. 8.20
		・アイドリング ストップの遵守		・自動車等駐停車時 のアイドリングストップ	実施 2024. 8.20

* 環境関連法規への違反はありません。
尚、関係当局より違反・訴訟等の指摘は過去3年間ありません。

⑩、代表者による全体評価と見直し結果

作成日 2024年 9月 13日
作成者: 環境管理責任者

(保存期間・3年間)

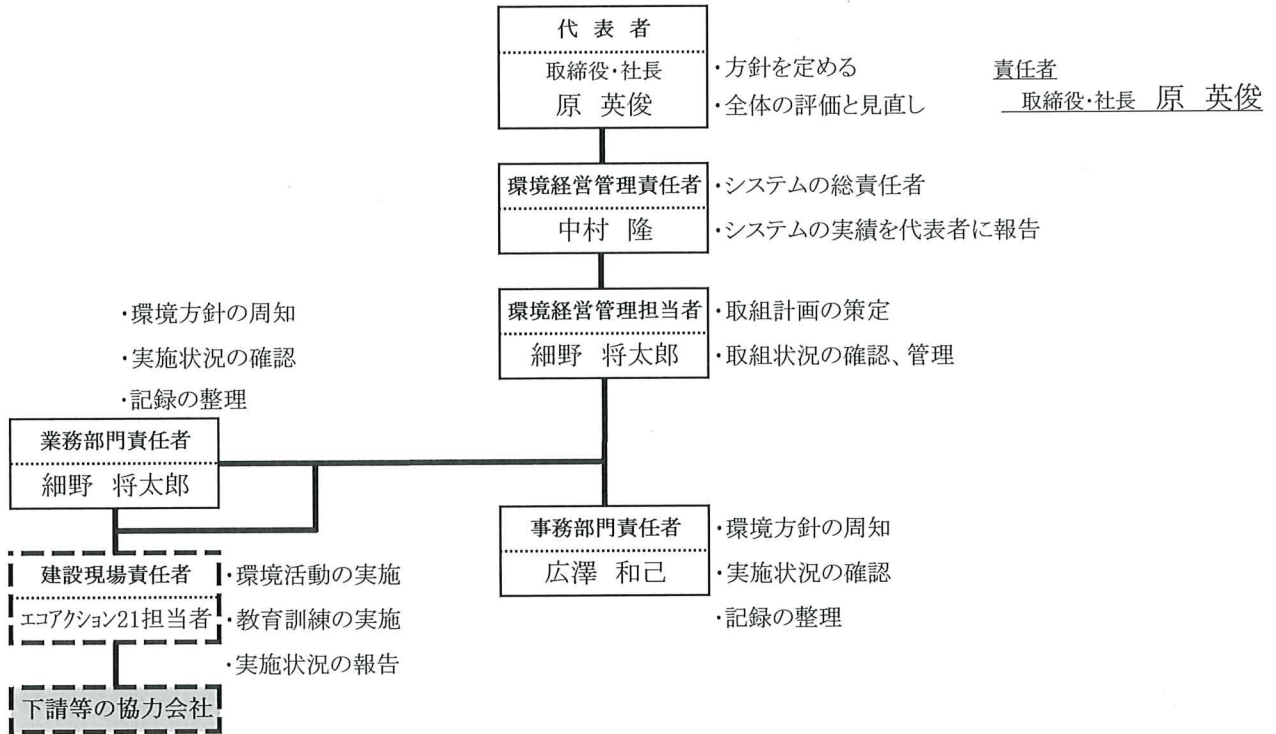
見直しのための情報			情報提供者
見直し概要	見直し実施区分	<input checked="" type="checkbox"/> 定期 <input type="checkbox"/> 臨時	中村 隆
	情報の提供者	環境管理責任者 中村 隆	
	見直し者	代表取締役 原 英俊	
見直し実施日	情報提供日	2024年 9月 10日	
	見直し実施日	2024年 9月 13日	
*対象期間 (2023.07.01~2024.06.30) 情報項目 及び 評価・課題	1. 環境経営目標の達成状況		
	・廃棄物量、水使用量については目標を達成しております。		
	二酸化炭素の排出量では、近年の異常気象(猛暑など)によるであろうエアコンの使用頻度増で前年比2.4%、718kg-CO2増加してしまっています。		
	いかにして夏季、冬季のエアコン使用を抑制できるかがポイントになると思われます。		
	・水道使用量が今期は極端に少ない結果となりましたが、従業員数が減っているの 少なくなるのは当然かと。		
	・Co2排出量の80%を占めるガソリン/軽油の使用量は例年どおり10000ℓ/年間と なっております。		
	2. 環境関連規制等の遵守状況		
	環境関連法規への違反はありませんでした、なお関係当局より違反等の指摘 及び訴訟もなし。		
	・グリーン購入法の植栽管理現場における「基本方針に基づいた植栽管理の実施」も 特記仕様・特記事項に従い履行できている事を確認しました。		
	3. 外部からの苦情・要望に対する結果		
いずれも「発生→処置・対応→その記録」まで滞りなく行えました。(1件)			
4. その他(改善の為の提案、設備投資など)			
・今後、本業における使用機械類の脱酸素化カーボンニュートラルにも投資が 必要になると思います。			
情報提供上の総評	次年度以降も従業員の増減による環境負荷値は変化してくると思います。		

代表者(経営層)による見直しの内容		確認/見直し指示者
見直し、変更の必要性への言及	指示内容	代表取締役 原 英俊
1) 環境経営方針 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要	・見直し、変更はしない。	
2) 環境経営目標・計画 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要	・各項目の基準値(目標値)は、引き続き直近5年の平均値とする。(電気は当年以下) ・引き続き、従業員のスキルアップ(資格取得)は、積極的に取り組む事とする。	
3) 実施体制 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要	・見直し、変更はない。	

エコアクション21

【実施体制】

(43期 2024年度)



役割・責任・権限	
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営システムの実施に必要な設備、費用、時間、を用意し環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 環境経営活動、環境経営活動計画を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営活動レポートを承認
環境経営管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等取りまとめ表」の作成/見直し 「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく順守評価の実施 環境経営目標・経営活動計画書を確認 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営活動レポートの作成/確認
環境経営管理担当者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営管理責任者の補佐 環境経営目標・環境経営活動計画書原案の作成 環境経営活動の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営活動レポート作成の補佐、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門の特定された緊急事態への対応の為の手順書作成、訓練・記録 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加
建設現場責任者 (エコアクション21担当者)	<ul style="list-style-type: none"> 建設現場において環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 協力業者に対する環境教育訓練等の実施 建設現場において環境経営活動の実績集計、記録